

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	46
学校名	富山県立高岡聴覚総合支援学校

学校の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度から高等部に福祉・サービス科を設置し、聴覚障害の生徒と、軽度の知的障害の生徒が共に学んでいる。 福祉・サービス科では、福祉、家政、流通・サービスに関する知識や技能の習得、校内実習・地域実習での実習等を通し、卒業後の就労を目指して技術や態度を養っているが、実践的かつ専門的な知識・技能の育成が課題となっている。 	
テーマ(特色)	キャリア教育の充実	
設定した「テーマ」の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症への対策を徹底することで、昨年度できなかった高齢者福祉施設での地域実習が可能となったが、途中コロナの拡大やその対策のために延期や中止になった回があった。 高齢者福祉施設での地域実習では、その施設で清掃を行っている一般社団法人の方に講師を依頼した。実技だけでなく、清掃の意義や清掃のルール等についても教わる事ができた。また、最終回には生徒一人一人に研修の評価をしていただき、生徒の働く意識が高まった。 校内での清掃実技講習は、昨年度より回数を増やしたことで、前回の復習をしながら継続して技術を学ぶことができた。 生活福祉に係る実技講習は1年生を対象として2学期後半から予定していたが、コロナ禍の影響を受け、3回のうち2回に留まった。 	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>環境美化に係る実技講習20回</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 地域実習先での実技講習14回(2・3年) B: 校内での清掃実技講習6回(2・3年、及び1年) <p>生活福祉に係る実技講習2回</p> <ul style="list-style-type: none"> 車いすの介助、シーツ交換について 高齢者の介護補助について <p>手指の巧緻性を高めるための軽作業の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ガスメーターの分解、ボールペンの分解と組立、さしこなど 	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者福祉施設での実習を通して、ルールを守って清掃業務に取り組む姿勢が身に付いた。清掃の仕方は行う場所によって違うということが実感でき、求められる方法で行うことの大切さを生徒が学ぶことができた。 地域実習での実技講習と校内での環境美化実技講習の講師それぞれの視点から、実技だけでなく働くことの意義や清掃の意義について広く学べたことがよかった。 生活福祉に関する実技講習は、高齢者福祉施設の施設長を講師に迎え、生徒の知的障害の実態を踏まえた分かりやすい内容であった。 地域実習の講師からは、研修のまとめの際、一人一人の生徒について評価をいただき、卒業後の就労に向けて自己理解を深める機会となるとともに、今後の励みとなった。 インターンシップでは、清掃業務や介護業務を主とする体験先はなかったが、この実習で学んだ「働くために必要なこと」を実践できた生徒が多かった。 校内での実技講習には作業学習担当以外の教員も参加し、作業学習の在り方を考える一助となった。 	
対象者(学年・人数など)	高等部 福祉・サービス科1年3人、2年2人、3年3人、教職員10人	
実施実績	4月	
	5月	
	6月	環境美化 A①② B①
	7月	環境美化 A③④ B②
	8月	
	9月	環境美化 A⑤ B③
	10月	環境美化 A⑥⑦ B④
	11月	環境美化 A⑧⑨ B⑤
	12月	環境美化 A⑩⑪ B⑥ 生活福祉①
	1月	環境美化 A⑫ 生活福祉②
	2月	環境美化 A⑬
	3月	環境美化 A⑭